

令和2年2月26日

令和2年1月期観測資料

1 観測結果概要

令和2年1月期(以下「今月期」という。)に、インターネットとの接続点に設置したセンサーにおいて検知したアクセス件数は、一日・1IP アドレス当たり 4,840.1 件で、令和元年12月期(以下「前月期」という。)と比較して 623.4 件(11.4%)減少しました。また、送信元 IP アドレスⁱ数は、一日当たり 47,268.4 個で、前月期と比較して 444.2 個(0.9%)減少しました。

不正侵入等のシグネチャを用いた検知件数は、一日・1IP アドレス当たり 859.3 件で、前月期と比較して 35.3 件(3.9%)減少しました。また、送信元 IP アドレス数は、一日当たり 8888.5 個で、前月期と比較して 1,950.9 個(28.1%)増加しました。

DoS 攻撃被害検知件数は、一日当たり 10,016.5 件で、前月期と比較して 1,069.8 件(12.0%)増加しました。また、送信元 IP アドレス数は、一日当たり 483.9 個で、前月期と比較して 142.9 個(41.9%)増加しました。

ⁱ 観測した IP パケットの IP ヘッダ情報に記録された送信元アドレス(Source Address)の値のこと。

2 センサーにおけるアクセス検知の観測結果

2-1 宛先ポート別アクセス検知件数

表 2-1 宛先ポート別検知件数(今月期順位)

今月期 順位	前月期 順位	ポート	今月期件数 ⁱ	前月期比 ⁱ
1位	1位	23/TCP	356.27件	-4.0% (-14.82件)
2位	2位	445/TCP	232.57件	-3.6% (-8.64件)
3位	3位	1433/TCP	199.70件	-7.0% (-14.94件)
4位	5位	80/TCP	74.01件	-4.8% (-3.70件)
5位	12位	52869/TCP	73.72件	+96.5% (+36.19件)

表 2-2 宛先ポート別検知件数(増加順位)

増加 順位	ポート	今月期件数 ⁱ	前月期比 ⁱ	今月期 順位	前月期 順位
1位	52869/TCP	73.72件	+96.5% (+36.19件)	5位	12位
2位	81/TCP	51.11件	+75.0% (+21.90件)	8位	17位
3位	4567/TCP	19.71件	- ⁱⁱ (+16.05件)	21位	- ⁱⁱ
4位	1900/UDP	32.43件	+84.8% (+14.88件)	15位	23位
5位	88/TCP	14.41件	+110.7% (+7.57件)	24位	48位

表 2-3 宛先ポート別検知件数(減少順位)

減少 順位	ポート	今月期件数 ⁱ	前月期比 ⁱ	今月期 順位	前月期 順位
1位	123/UDP	49.39件	-72.3% (-129.19件)	9位	4位
2位	26/TCP	4.42件	-86.6% (-28.55件)	64位	14位
3位	4145/TCP	9.10件	-66.3% (-17.92件)	31位	18位
4位	1433/TCP	199.70件	-7.0% (-14.94件)	3位	3位
5位	23/TCP	356.27件	-4.0% (-14.82件)	1位	1位

ⁱ 一日・1IPアドレス当たり。

ⁱⁱ 前月期のアクセス件数が僅かなため、前月期比及び前月期順位は記載していません。

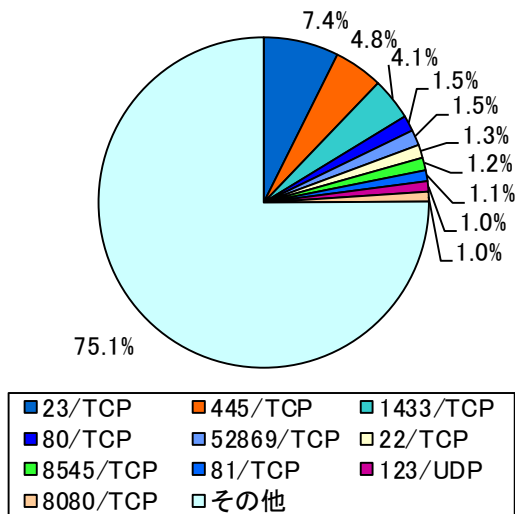


図 2-1 宛先ポート別比率(全て) ⁱ

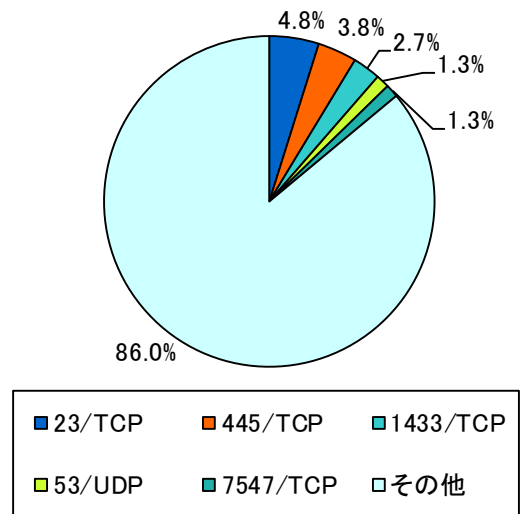


図 2-2 宛先ポート別比率(日本国内)

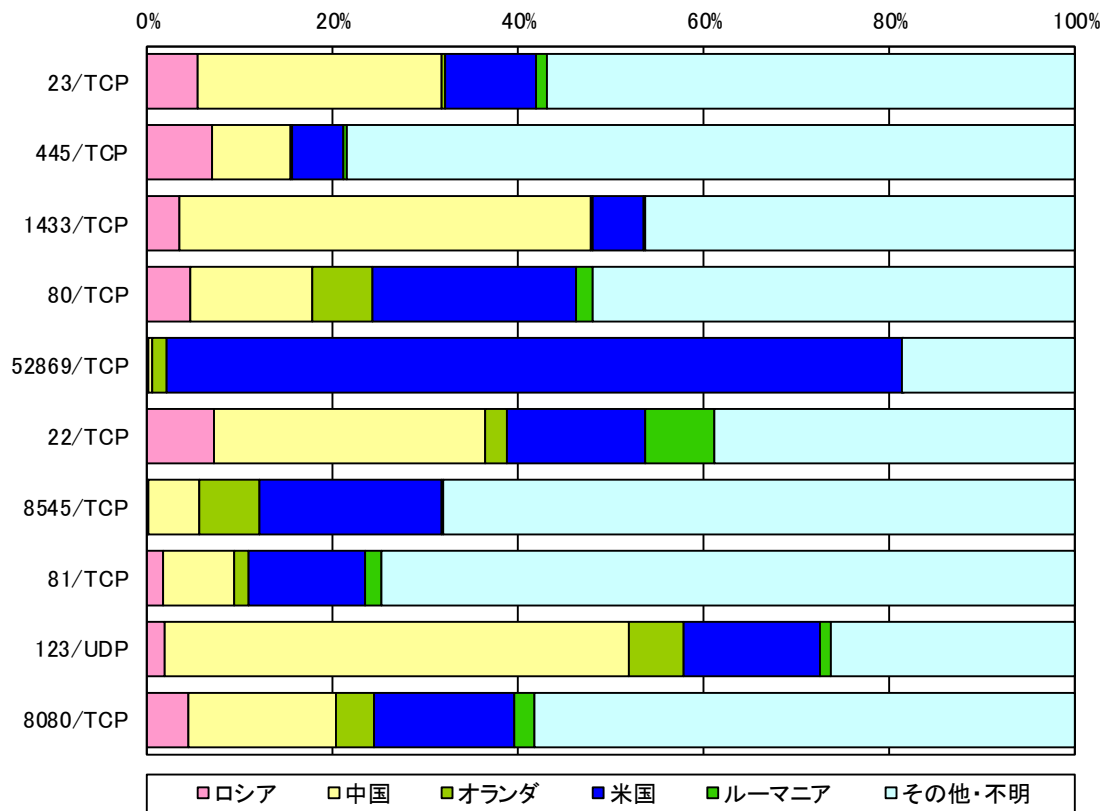


図 2-3 宛先ポート別上位の送信元国・地域別比率 ⁱⁱ

ⁱ 当データは、小数第二位で四捨五入しているため合計が 100%にならないことがあります。以降の円グラフも同様です。
ⁱⁱ 送信元国・地域については、判明した送信元 IP アドレスが当該国・地域に割り当てられていることを指しており、踏み台となっているなどにより、送信者の所在と一致していない場合があります。以降も同様の表記です。

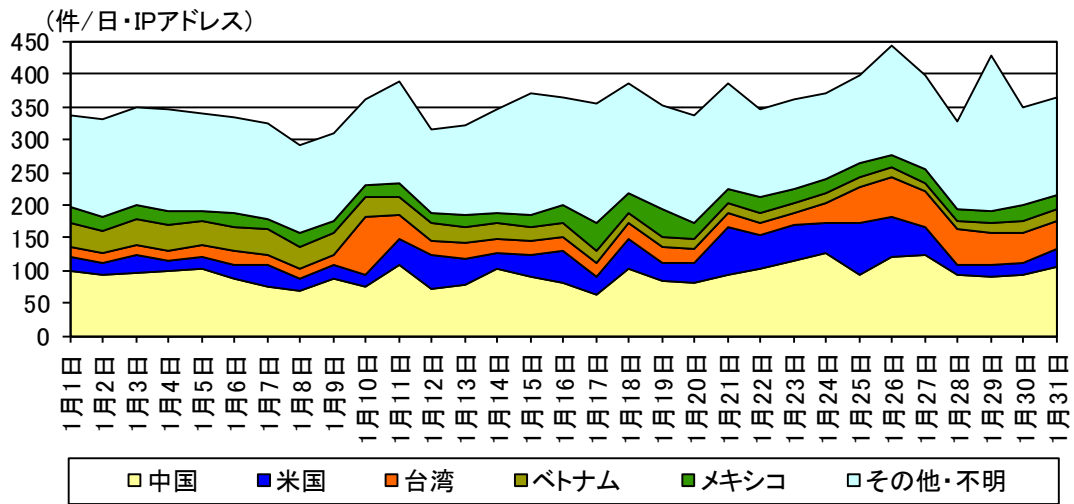


図 2-4 センサーのポート 23/TCP における検知件数の推移

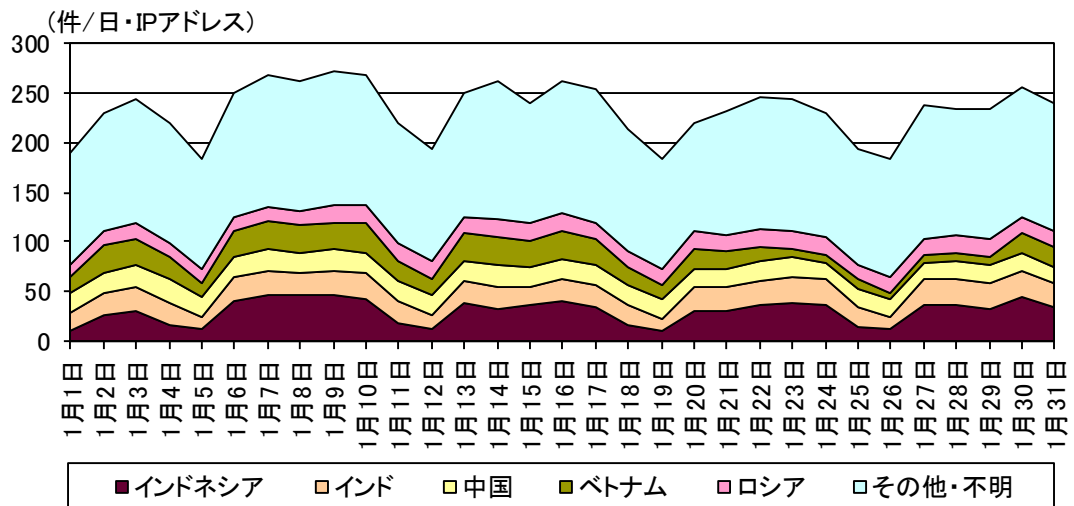


図 2-5 センサーのポート 445/TCP における検知件数の推移

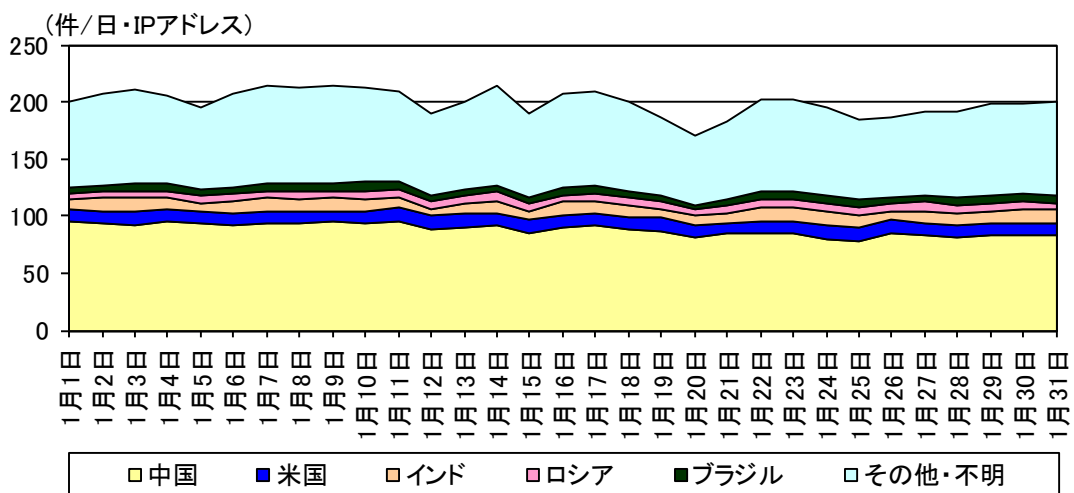


図 2-6 センサーのポート 1433/TCP における検知件数の推移

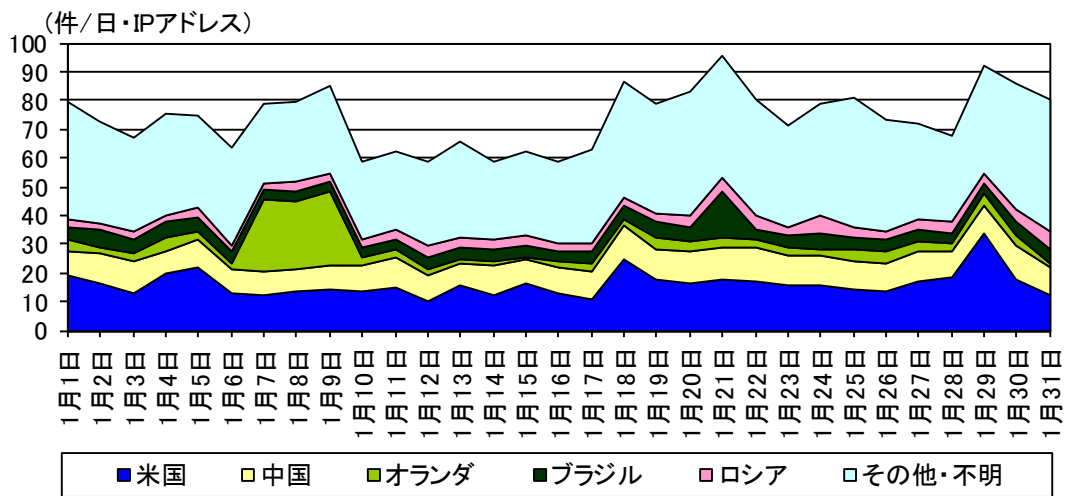


図 2-7 センサーのポート 80/TCP における検知件数の推移

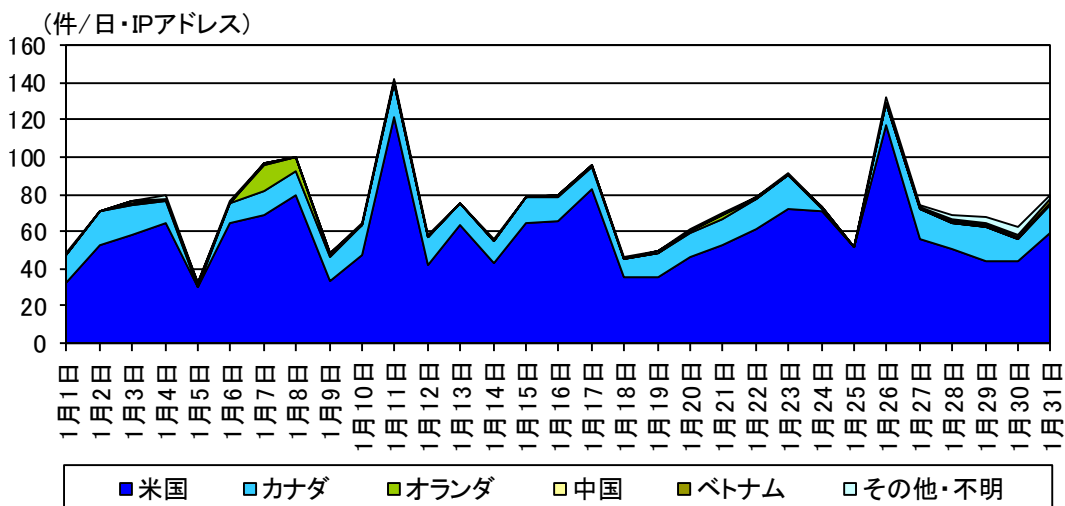


図 2-8 センサーのポート 52869/TCP における検知件数の推移

2-2 送信元国・地域別アクセス検知件数

表 2-4 送信元国・地域別検知件数(今月期順位)

今月期 順位	前月期 順位	国・地域	今月期件数 ⁱ	前月期比 ⁱ
1位	3位	ロシア	1,322.33 件	+66.1% (+526.40 件)
2位	2位	中国	849.45 件	-12.2% (-117.58 件)
3位	1位	オランダ	626.32 件	-55.7% (-787.56 件)
4位	4位	米国	545.70 件	+3.9% (+20.40 件)
5位	5位	ルーマニア	134.74 件	-42.3% (-98.67 件)

表 2-5 送信元国・地域別検知件数(増加順位)

増加 順位	国・地域	今月期件数 ⁱ	前月期比 ⁱ	今月期 順位	前月期 順位
1位	ロシア	1,322.33 件	+66.1% (+526.40 件)	1位	3位
2位	米国	545.70 件	+3.9% (+20.40 件)	4位	4位
3位	フランス	76.38 件	+28.7% (+17.04 件)	9位	13位
4位	英国	55.32 件	+32.8% (+13.65 件)	13位	19位
5位	イタリア	34.39 件	+57.0% (+12.48 件)	20位	26位

表 2-6 送信元国・地域別検知件数(減少順位)

減少 順位	国・地域	今月期件数 ⁱ	前月期比 ⁱ	今月期 順位	前月期 順位
1位	オランダ	626.32 件	-55.7% (-787.56 件)	3位	1位
2位	中国	849.45 件	-12.2% (-117.58 件)	2位	2位
3位	スイス	4.84 件	-95.8% (-110.34 件)	43位	7位
4位	ルーマニア	134.74 件	-42.3% (-98.67 件)	5位	5位
5位	ブラジル	52.19 件	-34.0% (-26.83 件)	15位	10位

ⁱ 一日・1IP アドレス当たり。

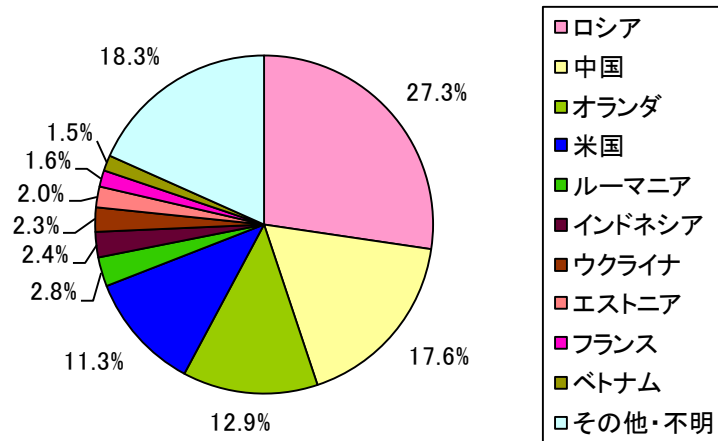


図 2-9 送信元国・地域別比率

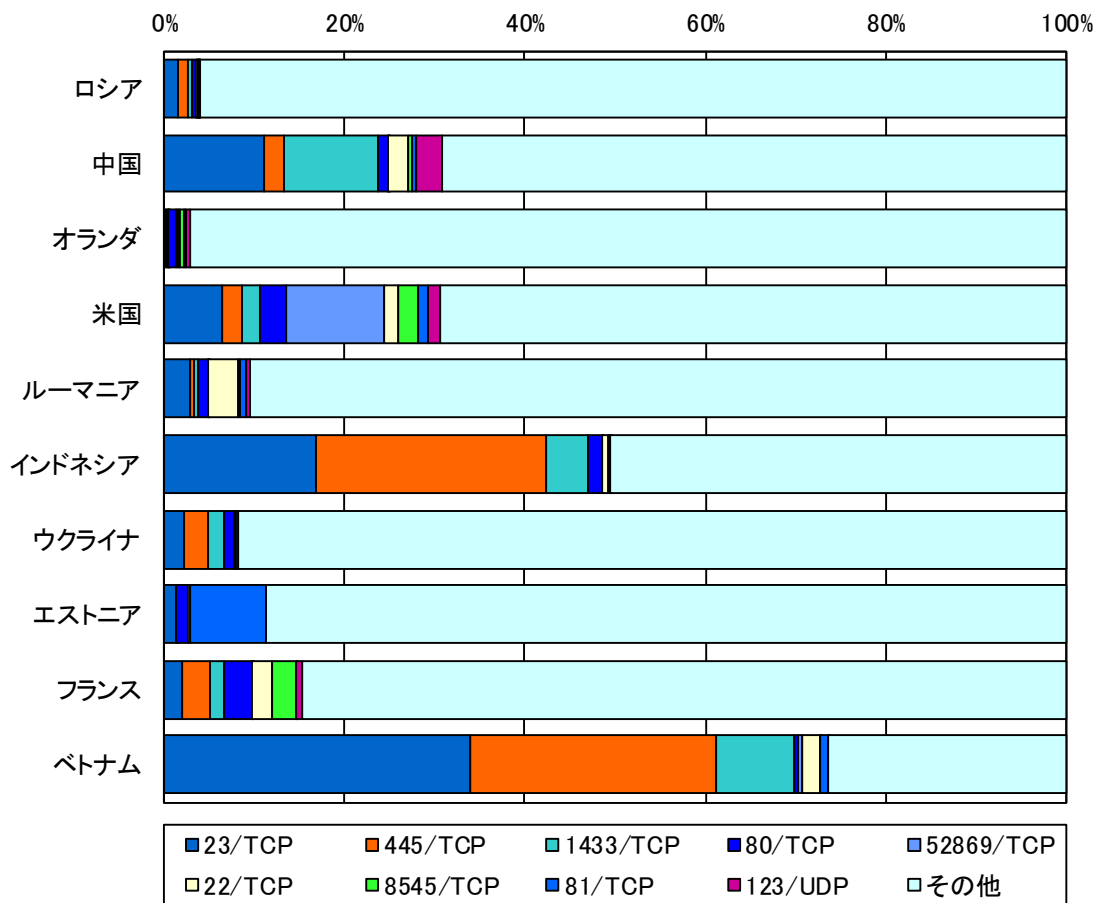


図 2-10 送信元国・地域別上位の宛先ポート別比率

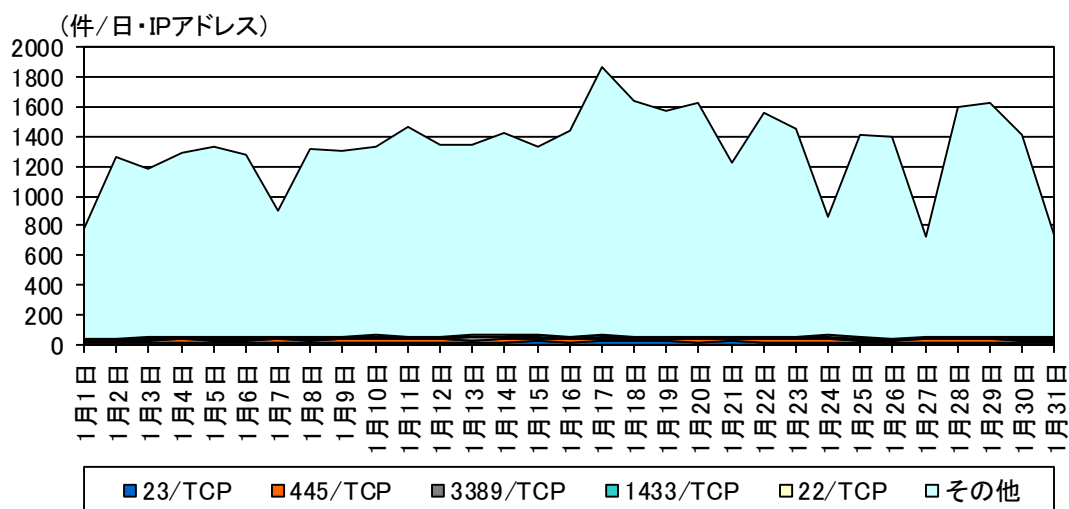


図 2-11 ロシアからの検知件数の推移

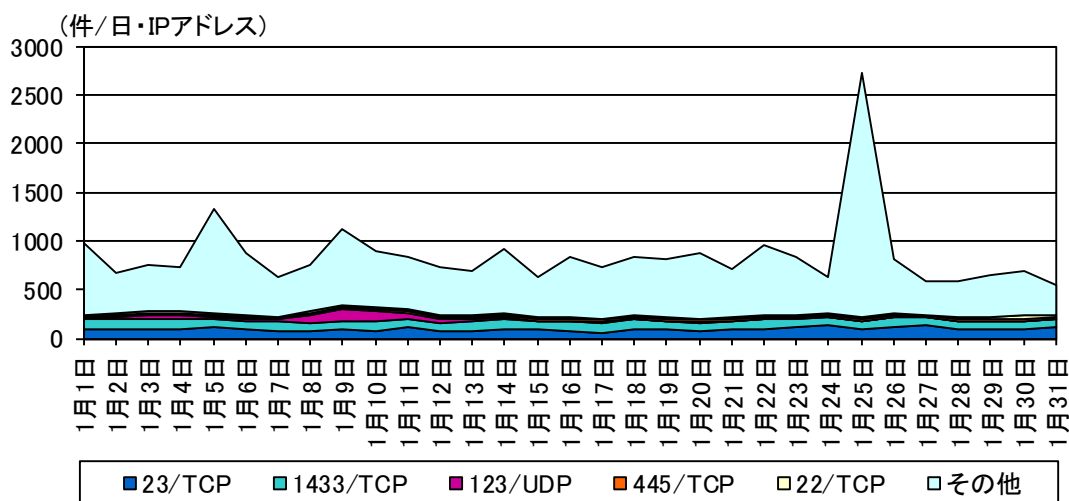


図 2-12 中国からの検知件数の推移

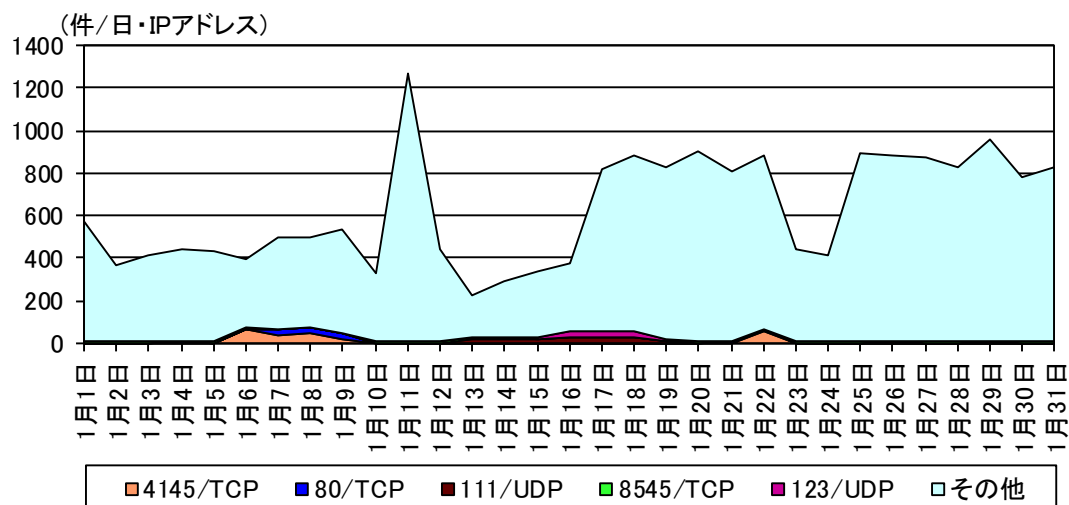


図 2-13 オランダからの検知件数の推移

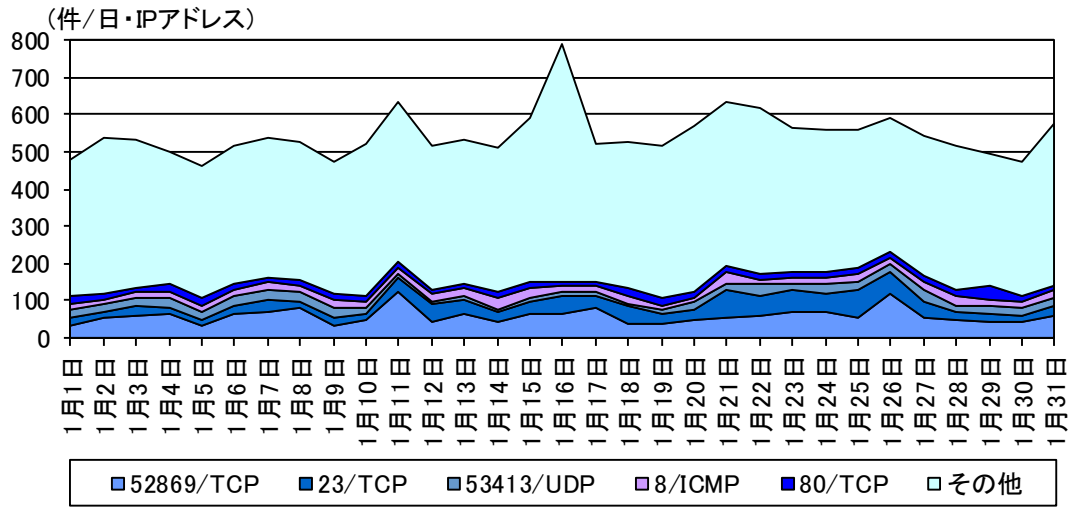


図 2-14 米国からの検知件数の推移

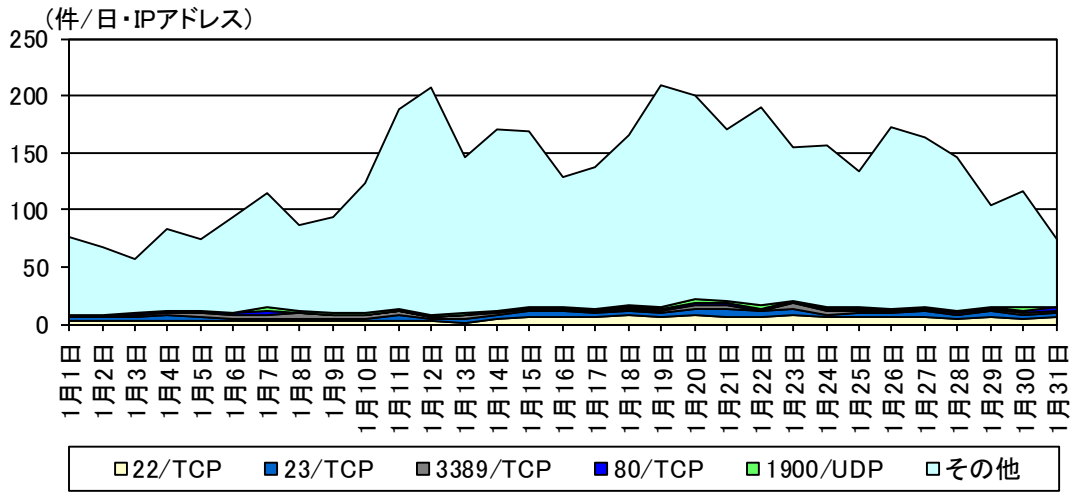


図 2-15 ルーマニアからの検知件数の推移

3 不正侵入等の観測結果

3-1 攻撃手法別アクセス検知件数

表 3-1 不正侵入等の攻撃手法別検知件数

今月期 順位	前月期 順位	攻撃手法	今月期件数 ⁱ	前月期比 ⁱ	増加 順位	減少 順位
1位	2位	Microsoft Windows Terminal server	319.47 件	+10.2% (+29.69 件)	1位	
2位	1位	INDICATOR- SCAN	270.28 件	-20.1% (-68.16 件)		1位
3位	3位	SMBv1	110.18 件	-4.3% (-4.99 件)		3位
4位	12位	OS-WINDOWS	26.26 件	- ⁱⁱ (+20.61 件)	2位	
5位	5位	ICMP	23.75 件	-12.1% (-3.27 件)		4位

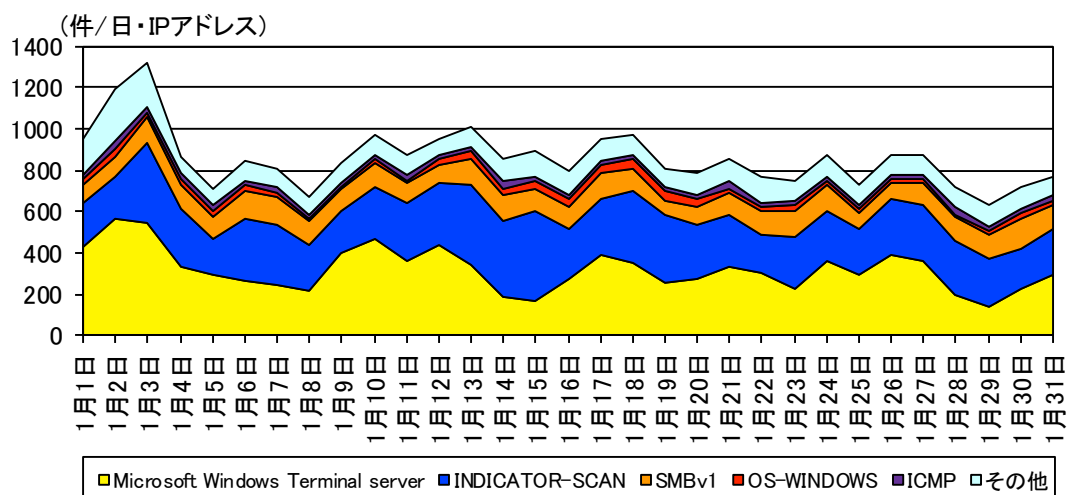


図 3-1 不正侵入等の攻撃手法別検知件数の推移

ⁱ 一日・1IP アドレス当たり。

ⁱⁱ 前月期のアクセス件数が僅かなため、前月期比は記載していません。

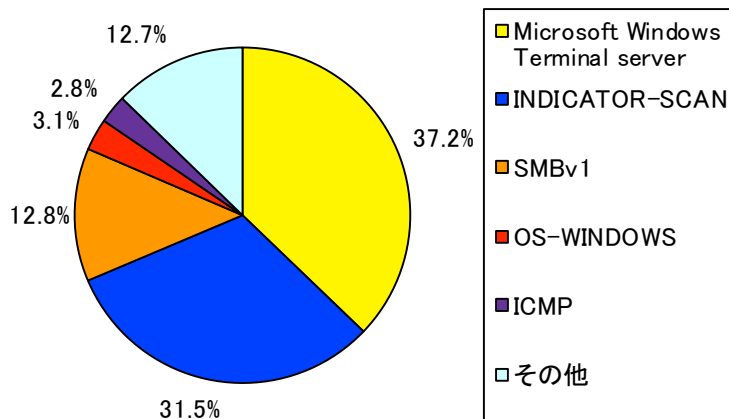


図 3-2 不正侵入等の攻撃手法別検知比率

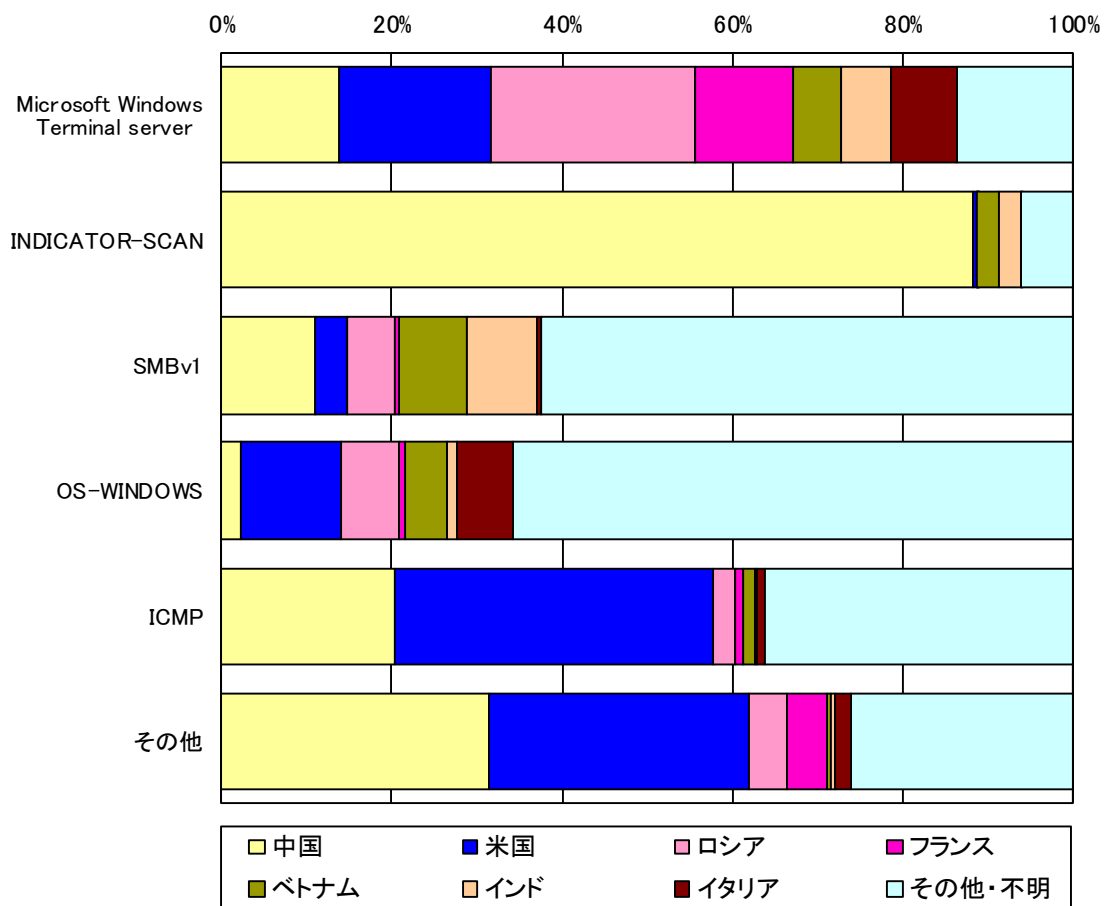


図 3-3 不正侵入等の攻撃手法の国・地域別検知比率

3-2 送信元国・地域別アクセス検知件数

表 3-2 不正侵入等の送信元国・地域別検知件数(今月期順位)

今月期 順位	前月期 順位	国・地域	今月期件数 ⁱ	前月期比 ⁱ
1位	1位	中国	334.43件	-19.3% (-80.19件)
2位	3位	米国	108.09件	+108.7% (+56.31件)
3位	2位	ロシア	89.80件	-48.4% (-84.12件)
4位	4位	フランス	42.49件	+33.3% (+10.62件)
5位	7位	ベトナム	36.55件	+73.9% (+15.53件)

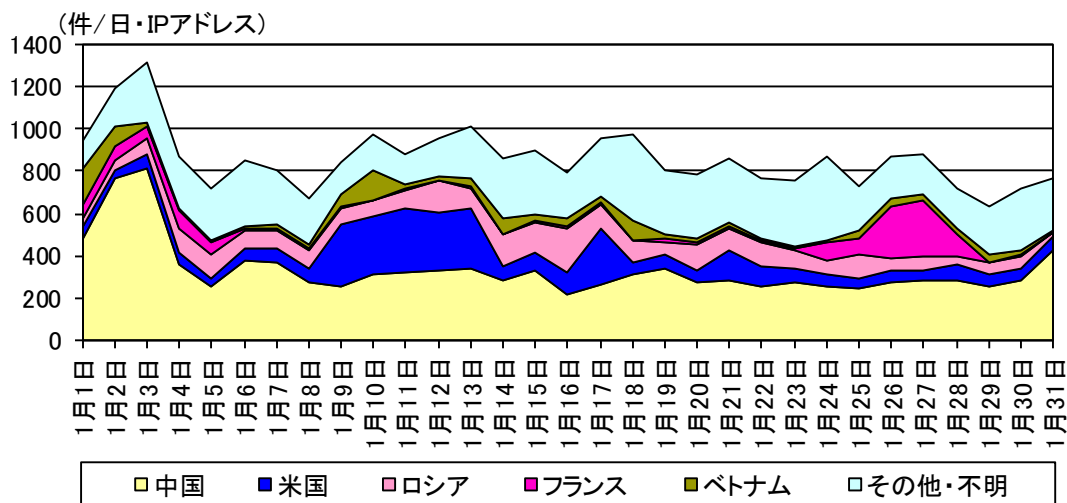


図 3-4 不正侵入等の送信元国・地域別検知件数の推移

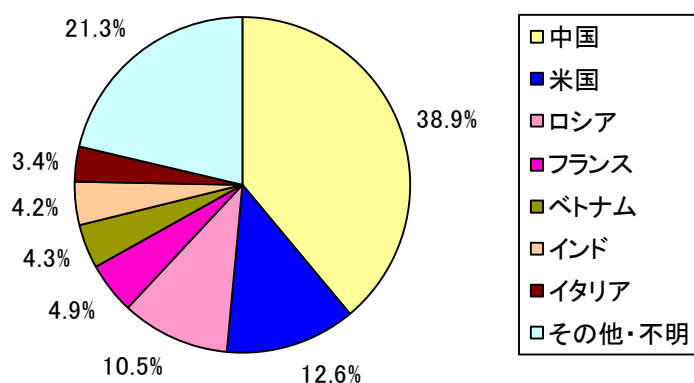


図 3-5 不正侵入等の送信元国・地域別検知比率

ⁱ 一日・1IP アドレス当たり。

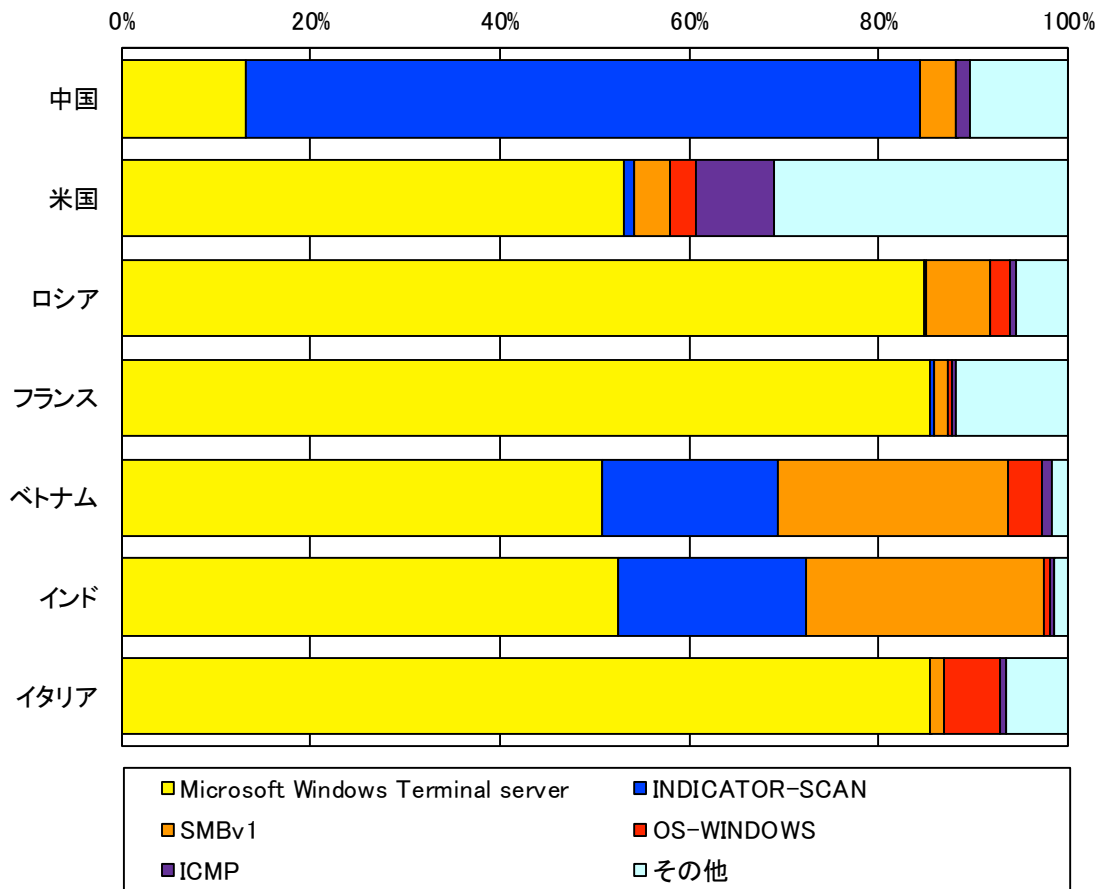


図 3-6 不正侵入等の送信元国・地域別上位の攻撃手法別検知比率

4 DoS 攻撃被害の観測結果

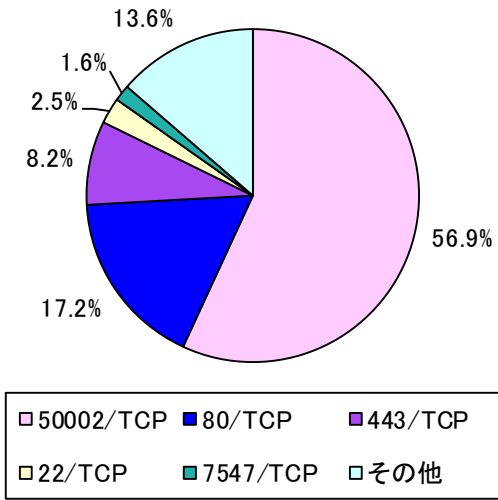


図 4-1 跳ね返りパケット送信元ポート別比率

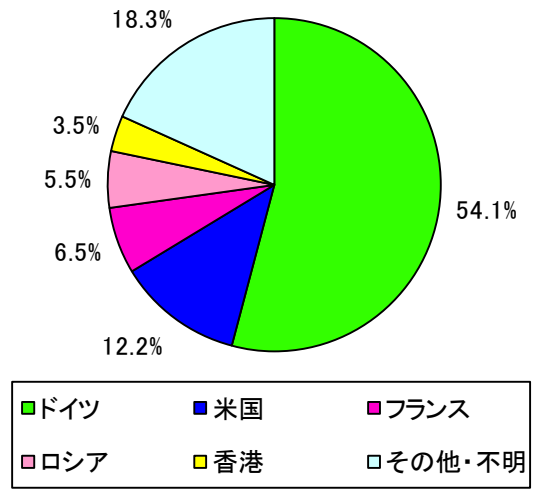


図 4-2 跳ね返りパケット送信元国・地域別比率

5 観測方法等

警察庁では、インターネット接続点に設置したセンサーにおいて検知したアクセス情報等を集約・分析した結果を観測結果として公表しています。その方法については、次のとおりです。

5-1 パケットの表記

TCP 及び UDP はポートごとに集計し、スラッシュの前にポート番号を付けて表しています(例「135/TCP」は TCP の 135 番ポートを表します。)。ICMP パケットについては、タイプごとに集計し、スラッシュの前にタイプ番号を付けて表しています(例「8/ICMP」は ICMP Echo Request を表します。)。

5-2 パケットの分類

センサーにおいて検知したパケットの分類は、表 5-1 に示す分類に従って集計しています。DoS 攻撃被害観測では、SYN/ACK 及び RST/ACK パケットに加えて、ICMP Echo Reply (以下「0/ICMP」という。)、ICMP Destination Unreachable (以下「3/ICMP」という。)及び ICMP Time Exceeded (以下「11/ICMP」という。)を集計対象としています。

表 5-1 パケットの分類

章	集計対象	
2 センサーにおけるアクセス検知の観測結果	センサーにおいて検知したアクセス	● TCP SYN パケット ● UDP による問い合わせパケット等 ● 8/ICMP
	目的が不明なパケット	● その他
4 DoS 攻撃被害の観測結果	SYN flood 攻撃による跳ね返りパケット	● TCP SYN/ACK ● TCP RST/ACK
	PING flood 攻撃による跳ね返りパケット	● 0/ICMP
	各種の flood 攻撃による跳ね返りパケット	● 3/ICMP ● 11/ICMP

5-3 不正侵入等の検知

検知された各シグネチャは、表 5-2 に示す分類に従って集約・分析しています。また、各センサーには、攻撃対象となる可能性のあるサーバ等の機器は一切接続していません。

表 5-2 シグネチャによる検知の分類

分類	説明
ICMP	ICMP パケットの検知
INDICATOR-SCAN	インターネット上の各種サービスに対するスキャン活動等の検知
Microsoft Windows Terminal server	Windows ターミナルサービスに対するスキャン活動等の検知
OS-WINDOWS	Windows OS のサービスに対する攻撃の検知
Remote Desktop	リモートデスクトップサービスに対する攻撃の検知
SERVER-WEBAPP	ウェブアプリケーションに対する攻撃の検知
SMBv1	SMBv1 に対するスキャン活動等の検知
SNMP	SNMP に対するスキャン活動等の検知
SSLv3	SSLv3 に対するスキャン活動等の検知
VOIP	VOIP に対するスキャン活動等の検知
Others	上記の分類に含まれないもの